

スパルタ経営、やめました 社員が自発的に育つ魔法とは？

自分でもバカだと思つたので、インターネットで「石坂産業」を検索し、自社や自分の評判をチェックしては落ち込む。そんな経験を何度もしました。特にきつかったのは、社長に就任して間もない頃に見つけた、社員のものと思われる書き込みです。

「うちの社長は自分で何も考えられないらしく、オレたち」に『考える』としきりに言う」心当たりがありました。その頃、私は社員によくこう呼びかけていました。「仕事は、自分で考えるから面白いんじゃない？ 考えないで仕事をしていたら、ただの作業だよ

ね。だから、みんなと一緒に考えていこうよ」。

誠心誠意、訴えているつもりでした。それが社員にねじ曲がって伝わっている。

匿名の書き込みです。一蹴してしまえばいい。他愛もない揚げ足取りさ。そう割り切れればよかったのかもしれないけれど、ネットに書かれたような受け取り方をしている人がある事実は重い。リーダーとしての自分の姿勢を振り返らざるを得ませんでした。創業者の父は、カリスマ経営者です。ある種のオーラを背に、何事も自分で決めて突き進む。そんな父のリーダー

シップを、自分が引き継げるかといえは難しい。最初からそう感じていました。

カリスマ経営からの脱皮を狙ったが……

父と自分は違う。父がトップダウン型なら、私はボトムアップ型だ。みんなの意見を吸い上げることこそ、2代目の役割じゃないか。そんな思いがあつて「考えよう」と社員に呼びかけたのです。

けれど、そんな私の姿勢が、社員には自信のなさに映るらしい。彼らを不安にさせるらしい。

理想と現実の違いはあります。父



いしざか・のりこ

1972年東京都生まれ。高校卒業後、米国の大学に短期留学。92年、父親が創業した石坂産業に入社。2002年社長就任。13年、経済産業省の「おもてなし経営企業選」に選ばれる。2児の母

石坂産業の概要

本社 : 埼玉県入間郡三芳町
創業 : 1967年
売上高 : 45億3000万円
従業員数 : 約130人
事業内容 : 産業廃棄物処理業

